



看護学同窓会便り No. 9

平成25年10月15日発行
連絡先
電話・FAX 095-819-7947
同窓会事務局 浦田

会長あいさつ

長崎看護学同窓会長: 下田 澄江

会員の皆様におかれましてはお健やかに過ごしのことと思います。

今年長崎が世界3大夜景に選ばれるという嬉しいニュースがありましたが、高知県では国内観測史上最高となる41.0度を記録し、熱中症も他人ごとではないと実感した夏でした。また豪雨及び暴風雨による災害が全国各地で多発し、昭和57年の長崎大水害の記憶を思い興された方も多かったのではないのでしょうか。

一方、東日本大震災後の復興支援も遅々として進まず心が痛む中で、看護学同窓会会員の方々が福島県で復興支援活動に取り組んでいらっしゃる様子が新聞等で紹介されました。さらに平成25年9月に開催された第2回日本放射線看護学会では看護に求められている役割期待や東日本大震災復興支援における同窓会会員の活動報告など素晴らしい報告を聞かせていただきました。

さて長崎看護学同窓会も今年で110年目を迎え、会員約3,600名中のほぼ半数が養成所時代から看護学校までの卒業生、残り半数が医療短大から保健学科・修士課程までの卒業生となりました。平成25年度総会では今後さらに母校の発展を支援していくための同窓会としてのあり方について皆様にご検討をお願いしたいと考えております。また記念事業として長崎大学医学部保健学科大西真由美教授に御講演をいただく予定です。国際保健学が専門で、健康格差とその背景要因の関連等の研究をなさっておりますのできっと会員皆様に関心の高い国際保健・看護の実態等について貴重なお話が拝聴できることと思います。御期待下さい。

今年度も11月23日に医学部良順会館において同窓会総会、懇親会が開催致します。楽しい思い出の会になる様に理事一同準備してお待ちしていますので、皆様お誘いあわせの上ご出席ください。同窓会にご参加いただけなかった方はホームページに同窓会の紹介をしておりますので、同窓会の発展のためにご意見、感想を寄せいただければ幸いです。また同窓会便りでは今後長崎の地を離れて遠くでご活躍されている会員の紹介や皆様の声等紹介していきたいと考えておりますのでこちらもご投稿をお待ちしています。

皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念しております。



平成24年度庶務報告

- 平成24年度入会者 75名
平成25年度入会者 78名
- 経過報告
 - 同窓会総会 平成24年11月23日
 - 理事会開催 3回
 - ホームページ管理
 - 慶弔
 - 3月25日 医学部保健学科卒業式: 生花寄贈
 - 物故者へ弔電
 - 原爆慰霊祭に浦田副会長献花、生花寄贈
 - 看護学研究奨励賞運営
 - 同窓会だよりNo.8発行

同窓会員数

総数	3,603名
養成所	306名
厚生女学部	148名
看護学校	1,323名
医療短大	1,201名
保健学科	611名 (医療短大の卒業生7名を除く)
修士課程	14名
(看護学校、医療短大、保健学科の卒業生14名を除く)	
平成25年9月30日現在	

物故者ご氏名

お知らせ頂いた方を掲載しております。
養成所 19期生 島田ナツエ様 (旧姓 西平)
平成25年9月22日

長崎看護学同窓会ホームページのご案内

長崎看護学同窓会のホームページを開設して皆さまにお知らせやご報告、ニュースレターなどの情報発信を行っております。どうぞ一度ご覧になってください。

[<http://www.nagasaki-kango.org/>]



保健学科、保健学専攻(修士課程)の報告

<保健学科看護学専攻8回生の進路>

平成25年3月、看護学専攻8回生79名が卒業し、県内外の保健医療機関に71名が就職しました。長崎大学病院に19名、それ以外の長崎県内に12名、九州地区26名、関西地区8名、関東地区6名でした。職種は1名が保健師、助産師は4名、66名が看護師として採用されました。大学院等への進学は6名で、本学の修士課程の助産師養成コースに3名、放射線看護専門看護師養成コースに1名でした。

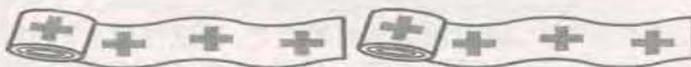
<長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻>

1. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻(修士課程)看護学講座では平成25年3月に6回生3名が修了いたしました。1名はがん看護専門看護師養成コース、1名は放射線看護専門看護師養成コースでした。今後のご活躍を期待したいと思います。
2. 平成22年から開設されたがん看護専門看護師養成コース(26単位)が平成25年1月に日本看護系大学協議会の「がん看護分野」の専門看護師教育課程に認定されました。これからも高度実践看護師養成のために教育・研究に精励していきたいと思っております。



今後とも保健学科、大学院の教育・研究にご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の近況報告



保健学科1回生 渡海奈央(勤務先:日本大学板橋病院救命センター)

私は、現在日大板橋病院の救命センターで働いています。主に3次救急、外傷センター、数年前より母体救命、こども救命も加わり年齢も疾患も様々な方が搬送されてきます。入職時は、オタオタしていた私も後輩の指導をする側になり、今は、指導した後輩が指導する側になりました。そんな場面を見ながら刺激を受けアセスメント能力を高めるため勉強の毎日です。

センターにはたくさんの方が搬送されますので、患者さんやご家族の方が滞在される時間は、ほんの一部分です。しかし、生命の危機という大変な時間に携わり、残念ながら中には家族が見つかる前にお亡くなりになる方もいらっしゃいます。そんな時は、未だに慣れず、胸が苦しくなりますが、少しでも家族や患者さんが危機を乗り越える支えとなれればと思いつつ働いています。

保健学専攻看護学講座2回生 大山祐介(勤務先:長崎大学病院)

私は長崎大学医療技術短期大学部看護学科(15回生)を卒業し、看護師13年目になります。長崎大学を勤務場所として選択した理由は、自分が看護師として働きはじめた時に困ったことがあれば、先生方をすぐに訪ねていけるからと考えていたからでした。入職しての最初の部署は脳神経外科でした。この頃は新人としての戸惑いだけでなく、男性としての戸惑いも感じる事が多くありました。女性患者さんに対するケアでどこまで自分が介入していいのかわからず悩んでいました。そこで、看護師2年目の看護研究を「男性看護師に対する女性患者の認知度とニーズに関する研究」というテーマで取り組みました。男性の看護師は看護士と呼ばれる時代で一般病棟に勤務する男性は少数でした。研究の相談でしばしば大学に足を運びました。脳神経外科で4年6か月の経験を積み、次の配属先は整形・形成外科病棟でした。この頃に長崎大学大学院医歯薬学総合研究科に看護学の修士課程が設立され、看護教員になるという道を心の片隅に持っていた私は大学院設立後の2年目に入学しました。講義が夜間に行われていたので、仕事をしながら学業にも励むことができました。臨床の現場に出てから大学院に行くことはとても有意義であり、臨床で研究をすることの大切さを学びました。その後SCU(脳卒中ケアユニット)での2年間の勤務を経て、現在は国際医療センター2(救命救急センター)に所属しています。救命救急センター外来と病棟、血管造影室勤務に従事しています。また、ドクターカー乗務員としての役割もあります。さらに今年、看護師長の薦めもあり、副看護師長に昇格し、管理職としての役割も得ました。責任を感じながらも楽しく仕事ができています。卒業後も臨床研究や大学院において母校とのつながりがあったことは私にとってすごく意味があるものでした。これからも看護師として自分ができることを考えていきたいです。

第2回日本放射線看護学会学術集会終了のご報告およびお礼

日本放射線看護学会の第2回学術集会は、平成25年9月14日・15日に医学部記念講堂、良順会館にて開催されました。学術集会長は浦田秀子が担当させていただきました。開催に際し、長崎看護学同窓会からはご寄付を賜り、ご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。お陰様で多くの方々にご参加いただき、盛会に終了することができましたことをご報告申し上げますとともにお礼を申し上げます。

プロローグとして本学養成所19期生の宮崎トミホ様に「自らも被爆しながら教護活動をした看護師の語り」としてご講演をいただきました。壊滅的な被害をうけ、仲間を亡くし、絶対的なマンパワー不足・医療器材不足の状態の中で、看護を続けなければとその使命感に動かされ、我が身も顧みず働き続けられたことをお話いただきました。長崎大学片峰茂学長に「放射線災害と長崎大学」のテーマでの特別講演、シンポジウムは「放射線災害からの復興支援における専門看護師の役割」をテーマに4名のシンポジストにご発表をいただきました。一般演題は37題（口演9題、示説28題）で、予想をはるかに超えて登録していただき、放射線看護の関心の高さを窺い知ることができました。15日は「福島県の現状と課題」と題して市民公開講座を開催いたしました。参加された皆様からは高い評価をいただきました。これもひとえに長崎大学の放射線に関する知の集積の賜物と考えます。1年猶予、保健学科のご支援を受け、本学科教員および長崎大学病院看護師の皆様とともに準備してまいりました。無事終了できましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。



公演中の宮崎トミホ氏



平成25年度看護学研究奨励賞受賞者ならびに次年度募集について

本年も看護学研究奨励賞に3題の応募がありました。うち1題は一般病院からご応募いただき大変嬉しく思います。業務改善や看護実践の向上などの臨床研究にも本賞をご活用ください。総会では授賞式とともに、これまでに授賞された3題の研究発表を予定していますのでぜひご出席下さい。

〈本年度受賞の研究課題〉

- ①全身麻酔下で腹臥位手術時入室前より加温を行なうことで、麻酔導入後の体温低下を防ぐ
高瀬江利子(長崎掖済会病院)
- ②女子大学生の月経に影響を及ぼす関連要因と健康状態
永井幸代(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻修士課程)

③(再審査予定)

〈総会で発表予定の研究課題〉

- ①地域に根ざした遺伝カウンセリング体制構築に向けての検討
佐々木規子(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻)
- ②やせた妊婦と低出生体重児出生との関連
赤星衣美(長崎大学病院)
- ③長期入院している双胎妊婦の経験と必要な支援に関する研究
坪田幸子(長崎大学病院)

☆次年度も以下の日程で募集しますのでご応募ください。

応募期限:平成26年6月20日～7月20日

応募要領、申請書など詳細については下記までお問い合わせ下さい。

問い合わせ先:勝野久美子(長崎北病院 Tel 095-886-8700 e-mail:kita_k_katsuno@shunkaikai.jp)

「長崎市包括ケアまちなかラウンジ」における看護師活動の紹介

医療技術短期大学6回生 平山美香

錦秋の候、長崎看護学同窓会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は、医療・介護・福祉の総合相談窓口「長崎市包括ケアまちなかラウンジ」で看護師として勤務しております平山美香と申します。このたびは、看護学同窓会便りの誌面をいただき、長崎市包括ケアまちなかラウンジの紹介と事業をおした地域のなかでの看護師活動についてご紹介したいと思います。

長崎市包括ケアまちなかラウンジは、長崎市医師会が平成20年4月から平成23年3月まで実施した「緩和ケア普及のための地域プロジェクト(OPTIM)」の事業を長崎市が発展的に継承し、長崎市医師会に委託された事業になります。OPTIMでは、「がん」「緩和ケア」に特化していましたが、まちなかラウンジでは、疾患を限定することなく、病気や障害により療養を余儀なくされた患者やその家族が、安心して療養の場所を選択し、住み慣れた地域で生活ができるように支援しています。また、一般市民に対しては、緩和ケアや在宅医療等に関する普及啓発として、各講座や市民健康講座を開催しています。そのなかでも、総合相談支援業務においては、まちなかラウンジの支援方針として、1. 相談者が、自分自身で解決策を見いだせるように支援する 2. 情報提供により、相談者が持てる力を取り戻し、その力を高めることができるように支援する この2点の方針にそった相談支援をおこなっています。市民、患者やその家族は、「病気」という経過のどの時期をとっても、程度は違っても回復過程にあります。その生活を整える過程において、相談者がエンパワーメントを発揮できるような支援を目標にしています。

具体的には「どこの病院を受診すればいいのか」といった受診・受療、「今の治療を継続してもいいのか悩んでいる」といった療養中についての相談を受けた場合は、相談者のニーズをアセスメントし、必要とする情報を提供し、関係機関と連携をすることで、解決に導いていきます。特に、療養中の患者やその家族からの相談においては、治療を継続している病院の地域医療連携室へ相談事例について情報提供し、協働で支援できる連携体制をとっています。

国の医療施策としても、在宅医療や地域包括ケアシステムなど「地域完結型」を推進していく方向性が打ち出されている一方で、高齢者世帯や認知症など、なかなか住み慣れた地域で生活を継続できない現状もあります。まちなかラウンジとしても、患者やその家族が、希望の場所で療養できるような地域づくりの一役を担っていければと考えております。



平成25年度看護学同窓会理事

役職名	氏名	卒業回・所属・連絡先他
名誉会長	加藤 奈智子	看学2
会長	下田 澄江	看学20
副会長	浦田 秀子	看学21・医学部保健学科 (819-7947)
	勝野 久美子	看学27・看護学奨励賞担当 社会医療法人春回会長崎北病院
書記	高橋 眞弓	看学25・看護部 (819-7522)
	中尾 理恵子	医短 3・医学部保健学科 (819-7946)
会計	石田 紀代美	看学32・5階東病棟 (819-7393)
	鳥越 絹代	医短1
監査	土屋 滋子	看学13
	田添 京子	看学22
学外理事	平湯 路子	看学6
	鶴嶋 葉子	看学7
	竹田 茂子	看学8
	荒木 宣代	看学10
	橋村 洋子	看学14
	山口 則子	看学15
	久松 千鶴香	看学26・長崎市医師会看護専門学校
	松藤 由布子	保健学科6・長与町役場
学内理事	福田 昌恵	看学34・手術部 (819-7424)
	中村 千代美	看学36・7階東病棟 (819-7565)
	森藤 香奈子	医短10・看護学研究奨励賞担当 医学部保健学科 (819-7997)
	張川 恭子	医短10・SCU (819-7392)
	藏本 友恵	保健学科1・国際医療センター2階 (819-7973)



編集後記：年に一度のニュースレター作成ですが、会員の方々の活躍を知ることができ興味深く原稿を読ませていただいております。今後も皆様に共に楽しんでいただけるよう作成していきたいと思っておりますので、ご一読いただけると幸いです。
(医短10・張川恭子)